

佐藤町政、始動

町の復興を早期実現



佐藤 信逸

〔略歴〕法政大卒。後楽町出身。衣料品販売・さとう商事社長、町商工会専務理事を歴任。会社役員。57歳。

任期満了に伴う山田町長選挙で、初当選を果たした佐藤信逸町長が、第7代山田町長に就任しました。任期の7月15日から4年間、町の復興に向けた舵取り役を担います。

7月17日、町中央公民館小ホールで行われた就任式では、これから町政運営に向けの方針を述べるとともに、行政の運営に関する姿勢や職員の職務に対する心構えなどの訓示があり、「町民視点・市民参加のまちづくり」を目指して、佐藤町政が始動しました。

このたびの選挙で町長になりました佐藤です。昨年の3月11日に発災しました大津波により山田町の状況が一変致しました。多くの犠牲者も出てしまいました。津波は三陸に住む者としては、いかんともしがたいものです。

この110年の間に、大津波が今回のものも含めて3回発生しております。そのほかにも数回小さな津波が山田町を襲っています。またいつやつてくるか分かりません。

しかし、今後はこのような犠牲者を出すわけにはいきません。私たちには安全な街をつくり、次の世代に引き継ぐ責任があります。

そこで私は、安全なまちづくりのため土地利用計画を町民の方々にご理解いただき、復興を前進させようと考えております。

土地利用計画の町民の皆さま方の早期合意が、新しいまちづくりをする上で一番大切な課題です。そのためには、多くの皆さま方よりご理解を頂かなくてはなりません。

私はそのためには「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という精神でいかなくては進まない方では、前になかなか進みません。

被災地山田町は、現在数多くの問題山積ですが、あいさつから始め職員ならびに役場に対する信頼を再構築し、一日も早く問題を解決できるよう職員一同頑張つてゆく所存です。

最後に、町民の皆さま方のご理解とご協力をお願い致します。

山田町長 佐藤 信逸

新町長就任のごあいさつ

沼崎前町長が退任 長い間、お疲れさまでした



前 山田町長
沼崎 喜一

7月14日が山田町長の任期満了の日であります。この日をもって、私は3期12年間務めさせていただいた町長職を引退することにいたしました。

町議会議員5期も通算すると29年間、町政に関わってきたことになりますが、これまで町民の皆様から賜りましたご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

昨年発生した東日本大震災・大津波により甚大な被害を受け、いま復興計画に基づき、ことしを復興元年として復興事業を立ち上げることになりました。10年にも及ぶ大事業の推進を後任の新町長に託すことになりますが、町民の皆さまの従来にも勝るご協力をお願ひいたします。

12年間を振り返ってみると、町長職が激務であることは覚悟の上ではありました、それは予測を越えたものであり、今まで病気で休むことがなかったのは幸せなことありました。多くの町民の皆様から「健康に気をつけて頑張ってください」と声を掛けていただいたこともその一因と思っております。ありがとうございました。

これからは、猿神の仮設住宅で暮らしながら、織笠地区的集団移転の宅地が完成する日を待ちながら、一町民として町の復興を見守りたいと思います。

7月14日に任期満了を迎えた沼崎喜一前町長の退任式が7月13日に役場庁舎前で開かれ、町職員や町民など20人が、3期12年間にわたり町政にこん身の力を注いできた沼崎前町長をねぎらいました。

沼崎前町長は「町長に就任してからの12年間は、激動の時代でした。不況による財政改革、平成の大合併など多くの試練にも直面しました。そのときにわ

たしを支えていたいのは、皆さんです。昨年3月の大震災以来、町民一丸となり復旧・復興に努めました。これからは新町長のもと、皆さんそれが被災者の身に立つて、被災者者の思いを自らの思いとして復興に取り組んでほしいと考えています。今まで支えていただきまし

す」と述べました。

その後、沼崎前町長は町職員からの花束を受け取り、職員や町民の皆さんからの大きな拍手の中、役場を後にしました。

7月8日に行われた山田町議会議員補欠選挙で当選した新しい議員を紹介します。

※掲載は右から左へ得票順です。

新議員の顔ぶれ

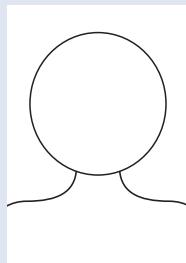


①北浜町②61歳③無職④竹田工業⑤1回



①後楽町②73歳③法人社員④県立高校教員⑤3回

氏名
(党派別・新現元別)



①地区②年齢③職業④主な職歴⑤当選回数